

津久見市議会だより

🌙
Tsukumi City Council News

第 89 号

令和 7 年 6 月 定例会
令和 7 年 8 月 1 日発行

編集発行：大分県津久見市議会
TEL 0972-82-9518



2025 保戸島夏祭り

新体制発足	2
6月定例会	3
市政を問う（一般質問）	6
第1回議会報告会	10
6月議員研修会	11
みんなガンバレ！	12



新体制発足!

正副議長あいさつ



議長
黒木 章三

活気に満ちた議会運営と議会機能の推進、また、山積する津久見市の課題解決に向けて、議員とともに、全力で取り組んでまいります。

更に、行政・議会・市民が議論を深め、「誇りと希望の持てる津久見づくり」に最善を尽くしてまいります。



副議長
井戸川 幸弘

この度、副議長に就任しました井戸川です。今後も開かれた市議会を目指すとともに、年々激しくなる猛暑・大雨・台風など自然災害の猛威から市民の命をいかに守るかを考えていきます。



総務常任委員会

総務常任委員会

《委員長》 内田 隆生
《副委員長》 丸木 一哉
《委員》 井戸川 幸弘 宮本 和壽
高野 幹也 知念 豊秀



社会文教建設常任委員会

社会文教建設常任委員会

《委員長》 野田 和廣
《副委員長》 植田 志ほ
《委員》 島田 勝 倉原 英樹
菊池 正一 黒木 章三

予算常任委員会

《委員長》 菊池 正一
《副委員長》 宮本 和壽
《委員》 議長を除く全議員

議会広報委員会

《委員長》 井戸川 幸弘
《副委員長》 植田 志ほ 丸木 一哉
《委員》 議長を除く全議員

議会運営委員会

《委員長》 島田 勝
《副委員長》 高野 幹也
《委員》 野田 和廣 内田 隆生
菊池 正一 知念 豊秀

【議会だより編集部会】

《部会長》 植田 志ほ
《副部会長》 野田 和廣
《部会員》 内田 隆生 倉原 英樹
高野 幹也

臼津広域連合議会

《議長》 黒木 章三
《監査委員》 宮本 和壽
《議員》 野田 和廣 内田 隆生
井戸川 幸弘

【議会報告会等開催実行部会】

《部会長》 丸木 一哉
《副部会長》 島田 勝
《部会員》 菊池 正一 宮本 和壽
知念 豊秀

津久見市監査委員

《議員》 宮本 和壽

大分県後期高齢者医療広域連合議会

《副議長》 井戸川 幸弘

庁舎建設等特別委員会

《委員長》 高野 幹也
《副委員長》 丸木 一哉
《委員》 議長を除く全議員

総合計画特別委員会

《委員長》 倉原 英樹
《副委員長》 知念 豊秀
《委員》 議長を除く全議員

6月定例会

会期：6/9～6/27
(19日間)

総務常任委員会

6月19日、本委員会に付託された議案4件及び意見1件について審査を行いました。

◆議案第54号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市都市計画税条例の一部改正）

【説】 地方税法が改正されたことにより、条例に引用している法律の条項の移動が生じることから、所要の改正を行ったもの。

◆議案第57号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市税条例の一部改正）

【説】 地方税法が改正されたことにより、二輪車の車両区分の見直しや特定マンションに係る特例の新設など、所要の改正を行ったもの。

◆議案第58号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市税特別措置条例の一部改正）

【説】 離島振興法第20条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令が改正されたことにより、市税特別措置条例に基づく特例対象となる特別償却設備の設置期限が延長されたことから、所要の改正を行ったもの。

◆議案第60号 津久見市税条例の一部改正について

【説】 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、公示送達の方法についての改正や個人住民税における給与所得控除の見直し及び大学生年代の子等に関する特別控除の創設等、所要の改正を行うもの。

【結】 以上4議案について、それぞれ質疑がありましたが、全員異議なく、原案のとおり承認・可決すべきものと決しました。

◆意見第3号 核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書（案）について

【説】 継続審議となっていた意見第1号 核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書（案）は、提案者から取下げの申し出があり、同様の名称で内容を改めて意見第3号として提案されたもの。

【結】 内容の表現に違和感があるということで一部

について修正案が提案され、委員2名から賛成討論があり、採決を行った結果、全員異議なく、可決すべきものと決し、次に修正部分を除く原案について採決した結果、全員異議なく、可決すべきものと決しました。

社会文教建設常任委員会

6月19日、本委員会に付託された議案6件及び意見1件について審査を行いました。

◆議案第55号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市公園条例の一部改正）

【説】 「つくみん公園」を都市公園法に基づく都市公園として位置づけることにより、今後取り組む様々な施策に対し各種補助事業が活用しやすくなるため、所要の改正を行ったもの。

◆議案第56号 専決処分の承認を求めることについて（津久見市国民健康保険税条例の一部改正）

【説】 地方税法施行令等が改正されたことにより、国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額及び後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を引き上げるとともに、低所得者層の保険税負担の軽減を目的として、5割軽減及び2割軽減の軽減判定所得の見直しを行うなど、所要の改正を行ったもの。

◆議案第59号 津久見市使用料条例の一部改正について

【説】 津久見市民会館の食堂スペースを有効活用し、市民の利便性を向上させるとともに、施設運営の充実を図るため、食堂として使用されていない期間に限り、厨房を除く食堂部分を多目的室として時間単位で貸し出すとともに、厨房についても同様に貸し出せるよう、所要の改正を行うもの。

◆議案第61号 津久見市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

【説】 簡易水道再編推進事業により、平岩地区簡易水道組合を上水道区域に編入することや計画一日最大給水量の変更について、所要の改正を行うもの。

◆議案第62号 津久見市公共下水道条例の一部改正について

【説】 環境基本法や水質汚濁防止法といった関係法令に基づく大腸菌群数に係る水質基準について、

大腸菌数に係る基準に変更されることを踏まえ、所要の改正を行うもの。

◆議案第 63 号 津久見市入学準備金貸付条例の廃止について

説 本条例に基づき、津久見市内から津久見高校に進学する生徒の保護者に対し入学準備金を貸し付ける制度について、利用実績が低迷する中、令和 7 年度から、津久見高校地域振興協議会より、市内から津久見高校に進学した生徒に対し 5 万円の入学準備金を贈与する制度が開始されたことにより、今後、貸付制度の利用は見込めないことから、本条例を廃止するもの。

結 以上 6 議案について、それぞれ質疑がありましたが、全員異議なく、原案のとおり承認・可決すべきものと決しました。

◆意見第 4 号 ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（案）について

結 委員から、「この意見書に書いてあることが津久見市にとっての実情とは違うということ。また、提出者の発言が、正当性に欠けるという点において疑念を持っているということから、反対をさせていただきます。」と反対討論があり、挙手による採決を行った結果、挙手多数で、可決すべきものと決しました。

予 算 常 任 委 員 会

6 月 20 日、本委員会に付託された議案 8 件について審査を行いました。

◆議案第 48 号 専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度一般会計予算の補正）

説 歳入歳出それぞれ 2 億 3,040 万円を追加し、補正後の予算の総額を、歳入歳出それぞれ 133 億 2,077 万 7 千円としたもので、額の確定などによるものであり、また、繰越明許費の補正として、イントラネットケーブル移設工事及び千怒小学校校舎改修事業の 2 件が追加されたもの。

◆議案第 49 号 専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度国民健康保険事業特別会計予算の補正）

説 基金利子の確定に伴い補正したもの。

◆議案第 50 号 専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度保戸島航路事業特別会計予算の補正）

説 歳入歳出それぞれ 800 万円を減額し、補正後の予算の総額を、歳入歳出それぞれ 1 億 8,324 万 6 千円としたもので、国庫補助金及び航路船舶の燃料費、修繕料確定に伴い補正したもの。

◆議案第 51 号 専決処分の承認を求めることについて（令和 7 年度一般会計予算の補正）

説 歳入歳出それぞれ 3,690 万 1 千円を追加し、補正後の予算の総額を、歳入歳出それぞれ 123 億 1,890 万 1 千円としたもので、国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の交付決定に伴い、住居表示台帳を電算化するための委託料及びスマートメーター設置事業等に伴う繰出金、DX 推進に向けたタブレット端末整備費を計上したもの。

◆議案第 52 号 専決処分の承認を求めることについて（令和 7 年度津久見市水道事業会計予算の補正）

説 国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の交付決定に伴い、水道使用水量や使用料金などの情報をインターネットを介して開示できるシステムを導入するもの。

◆議案第 53 号 専決処分の承認を求めることについて（令和 7 年度津久見市簡易水道事業会計予算の補正）

説 国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の交付決定に伴い、水道使用水量を無線通信にてデータ転送を行うスマートメーターを、給水対象者各戸に設置するもの。

◆議案第 64 号 令和 7 年度一般会計予算の補正について

説 歳入歳出それぞれ 5,582 万 3 千円を追加し、補正後の予算の総額を、歳入歳出それぞれ 129 億 7,472 万 4 千円としたもので、主な内容として、県のおおいた防災・減災対策推進事業費補助金を活用し、防災用備蓄品等を購入する消耗品費の増額、市道中ノ内奥線の中ノ内奥 1 号橋、橋台部等の洗堀に伴う改修工事や障がい者福祉システムのシステム改修委託料などを計上したもの。

結 以上 7 議案について、それぞれ質疑がありましたが、全員異議なく、原案のとおり承認・可決すべきものと決しました。

◆議案第 66 号 令和7年度一般会計予算の補正について

【説】 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1,980 万 5 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 129 億 9,452 万 9 千円とするもので、歳出では、令和5年度の生活保護の支給に充てる国庫負担金等について過払いを受けていた分を、実績報告に基づき、令和6年度予算において返還すべきところ、未処理となっており、令和7年度予算において支払いをするため、国県等補助金返還金を計上し、歳入では、財政調整基金による予算の調整をするもの。

なお、説明の中で、「この返還金は、県を通して国に返す仕組みになっているものの、担当職員が、5月初旬、県から4月末日までの返還期限を過ぎても納付されていないと指摘を受けていたにもかかわらず、その後もおよそ1か月にわたって手続きを行わず、上司にも報告していなかった。」ということでした。また、返還手続きを取らなかった理由などについて、市では調査を続けているとのことで、今回の補正予算が可決されれば、延滞金 35 万円余りについては、既決予算の中から今回の補正分と合わせて国に返還するとの説明がありました。

【審】 審査の中で、委員から、「今回この補正予算を組むに至った経緯について、当事者を含め、処分や

責任の範囲などについて、今後、市としての考えや予定が分かれば、教えていただきたい。」との質疑があり、これについて、「懲戒処分といった今後の対応、当該職員に対する求償の有無なども、顧問弁護士や大分県とも相談しながら、検討していかないといけないと考えている。」との答弁がありました。

また、委員から、「今後も、議会にきちんと説明、報告をする必要はあると思うし、併せて今回のこの件で、残念ながら、市民に対して津久見市、行政、職員への信頼を、結果として失墜させてしまったということは、事実あると思う。その信頼回復に、これから努めていかなければいけないことと、『マスコミ、報道を通じて、きちんと事実が伝わっていない。』というのは、市民の方から聞いて感じたので、市として、説明責任をきちんと果たしていく必要があると思うが、考えを聞かせいただきたい。」との質疑もあり、これについて、「速やかに当事者の責任なり、管理監督者の責任を含め、明らかにしていきたい。今回、市民への信用失墜を招いたということは、非常に責任を感じているので、説明責任を今後、十分果たしていけるように努めてまいりたい。」との答弁がありました。

【結】 審査の結果、一刻でも早く国庫には返納すべきものであることから、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

永年勤続表彰

5月20日に東京で開催された第101回全国市議会議長会定期総会で、議員永年勤続表彰が行われました。

当市議会からは、議員勤続10年以上で、黒木章三議長、井戸川幸弘副議長が受章し、6月定例会の開会日（6月9日）に表彰伝達式を行いました。



9月定例会のご案内（予定）

9月 8日(月) 開会

16日(火) 一般質問

17日(水) 一般質問

18日(木) 常任委員会

19日(金) 常任委員会

10月 1日(水) 採決

9日(木) 特別委員会

10日(金) 特別委員会

17日(金) 採決・閉会

市政を問う

一般質問

6月17日(火)・18日(水)

7議員が登壇 傍聴者延べ18名

顔写真横の
二次元コードから
各議員の一般質問
の動画をご覧いた
だけます。



津久見市議会録画映像インターネット配信 ▶ <http://www.kensakusystem.jp/tsukumi-vod/index.html>

一歩でも前へ

うちだ たかお
内田 隆生



問 土地改良区農道の市への移管について

答 津久見市土地改良区の解散につきまして、平成15年の土地改良区理事会において決定されていますが、解散手続きがなされないまま現在に至っており、課題整理にはまだ時間がかかると想定しています。津久見市としては、津久見市土地改良区の組織としても、新たな理事の就任等含め今後の協議等に備える検討をしていただくなど、大分県、JAおおいた本部とも、一緒になって、課題解決のため積極的に取り組んでいきます。

問 南海トラフ地震に備えた防災備蓄品の現在の備蓄状況と、今後の取組について

答 食料品が約17,000食、飲料水が2リットル換算で約5,300本、簡易ベッドが約220個、毛布が約2,500枚、その他簡易トイレやおむつなどの生活用品などを、市内20箇所の備蓄用

倉庫に分散備蓄しております。南海トラフ地震における津久見市の避難者数は約5,600人と想定される中で、備蓄品の更なる整備が必要であり、今後は、県の補助金を活用し、市の分散備蓄用倉庫や各地区の防災倉庫に、避難者が最低でも3日間は避難生活を送れるよう、水や食糧、毛布、簡易トイレ、口腔ケア用品、救急セット、簡易ベッド、簡易テント、オムツ、生理用品等の備蓄品を補充するため、今定例会に補正予算案を上程しております。備蓄品については、保存年限も違うことから、補充する際には一度に更新することがないように、ローリングストックをしながら購入する予定です。

◆その他、ふるさと納税について及び地域おこし協力隊について質問をし、答弁を頂きました。

再エネ活用で 市内経済の循環を構想せよ

ちねん とよひで
知 念 豊 秀

津久見市における再生可能エネルギーの活用について

問 先日、南愛媛風力発電所を見学し、22基の風車が年間約20億円の売電収入を生む可能性がある一方、地域への還元は限定的である現状を知りました。つまり、大企業による風力発電の経済効果は、想像以上に地域へ還元されていません。

参考事例として、長崎県五島市では市民や商工会議所が主体となり、発電利益を地域に循環させる仕組みを構築し、地域新電力会社も設立されました。津久見市でも、若者の定住や人材育成、新産業創出につながる構想を始めようと考えています。

答 重要な事ですが、単独で進めていくのではなく、国・県と歩調を合わせ、民間事業者の動向も注視しながら進めていくべきだと考えています。

医療・介護事業者の経営状況について

問 診療報酬や介護報酬の引き下げに加え、物価高と人件費の上昇で、市内医療・介護事業者が深刻な経営難に直面しています。本市の状況はどうか伺います

答 市内の病院・診療所・介護施設の経営状況を把握することは困難でありお答えできませんが、全国的に倒産のニュースも流れており、職員の高齢化と人材不足等により事業規模の縮小も検討しなければならない事業者も出てくるのではないかと考えられます。必要に応じて聞き取りを行なうなどしていきます。

100歳の敬老祝品を現金にしては

問 昨今の物価高騰で「現物よりも現金のほうがありがたい」との声が寄せられています

答 現時点で現金に切り換える予定はありません。

地域の学校は、人口減少を防ぐ！

まるき かずや
丸 木 一 哉

学校のあり方について

問 複式学級のメリットは

答 異学年の交流が深まる、自主性・自立性が育ちやすい、学びの個別化・多様化が目指せる、少人数で丁寧な指導が可能になるなどです。

問 小規模校のメリットは

答 一人一人に目が行き届きやすい、家庭的な雰囲気・人間関係を作れる、地域とのつながりが強くなる、子どもが主役になれるなどが挙げられます。

問 地域の活性化の視点からは

答 地域に学校があるとにぎわいと活気が生まれ、通学・登下校や遊びの場面で子どもたちの声が聞こえると活力になります。運動会や地域の祭りへの参加など、地域住民との交流が促進

され、地域資源を活用した教育を実践しやすくなります。高齢者と子どもたちとの交流で世代間の交流も深まり、登下校時の見守りでは、地域の大人と子どもが顔見知りになり、防犯・防災意識も高まることも期待できます。学校は学習の場のみではなく、地域づくりの拠点として、福祉・文化・教育を結びつける存在でもあります。

問 人口減少対策の視点からは

答 一般的に、地域に学校があるということは、通学の不安が解消され、住む場所の選択肢として、その地域が浮上しやすくなり、このことは子育てにとって大切な影響を与え、若い世代の移住やUターンを後押しする可能性があり、人口減少を防ぐ効果も期待できるとされています。

◆この他に、「第6次総合計画の策定について」を質問しました。

災害への取り組み強化を

いどがわ ゆきひろ
井戸川 幸弘



問 災害時におけるペットを連れた避難について
答 能登半島地震などでは、ペットを連れた避難で避難所に入れず車中泊を余儀なくされた方などの問題がありましたが、ペットは飼い主にとって家族同然であり、欠かせないものと認識しています。しかし、災害時での避難場所の生活では、様々な方が避難しており、動物が苦手な方や動物に対してアレルギーを持っている方がいます。被災時には長期の避難も考えられることから、今後は関係機関とペットの一時預かりの可否や、ペット用スペースの確保に向けた調整などを検討し、災害時でのペットの同行避難において、飼い主に対しての事前の準備などの啓発にも努めます。

◆他に災害時の福祉避難所確保について、災害関連死認定について、大規模災害時の広域避難について取り上げました。

問 高齢化社会が進む中で多くの自治体が終活支援を行っているが、津久見市での終活に向けた今後の取り組みについて。

答 終活とは、誰もが迎える将来に向けて、元気なうちに準備を行う活動のことで、今後の人生を充実させるとともに、家族や周囲の負担を減らすことにも役立ちます。県内の自治体でも終活に関する講演会の開催やエンディングノートの提供を行うなどの取組が行われています。一口に終活と言っても、その内容は多岐に渡ることから、終活の支援については、関係する多くの人が考えなければならず、今後も講演会などの機会を通じて終活に関する理解を深めて頂く取組を進めます。終活については専門機関にお繋ぎすることもできますので長寿支援課にご相談ください。

もっと女性の活躍を!! 女性の声に耳をかたむけて!!

う え だ し ほ
植 田 志 ほ



津久見市職員等における男女共同参画の強化を!!

問 津久見市職員の男女比は
答 職員 174 名中、女性は 63 名で、36.2%となっています。また消防職員についても、現在 2 名の女性職員が居ます。また、現在、女性管理職の登用につきましては、消防職を除く管理職 22 名中、女性は 1 名で 4.5%となっています。市民サービスの充実を図る上で、女性の視点、御意見を取り入れた行政運営は、一層必要だと考えています。

子ども達に対するさらなる支援や、取り組みは

問 今後の支援は？次の一手は
答 就学期のお子さんが居る共働き世帯向けの、教育費等に関するセミナーを試験的に実施する予定です。

問 さらなる学力向上及び学習環境は

答 「土曜寺子屋・つくみ塾」は、毎月 1 回土曜日の午前中に、希望者に実施しています。今年度は、津久見小、千怒小、青江小の 3 校を会場とし、算数検定や漢字検定へのチャレンジに向けた支援を行っています。

問 子育てしやすい街、子育て世帯から喜ばれるまちづくりとは

答 相談事をどこの課でも受け止め、その後担当課や専門機関と相談する体制が出来ております。今後も小さな街の利点を生かして横断的な対応をしていきたいと考えています。



市中心部南北分断の緩和に向けて 駅バリアフリー化の早期着手を！

きくち しょういち
菊池 正一

問 市の認識と対策は

答 津久見駅のエレベーター設置事業などのバリアフリー化は、駅の利便性だけでなく、駅を中心に南北を結ぶ重要なポイントであると認識しています。JR九州は、地元自治体から要望があれば、費用負担を含めて、国や地方自治体と検討させて頂きたいとしています。今後は、津久見市単独の取組だけでなく、県や各種団体と連携した大規模な要望活動を粘り強く続けていかなければならないと考えています。設置費用や補助採択要件といった課題を念頭に国や県と連携しながら、まずはJR九州との個別協議を開始させたいと考えています。

問 高齢者が安心して渡れる踏切の整備は

答 JR岩屋踏切は、踏切道両側に歩道敷部分を新設します。歩道敷では、段差や隙間を解消するとともに、視覚障がい者用誘導表示を

設置。さらに歩車道分離を明確化するためカラー舗装するなど、高齢者や障がい者が、安全・安心に通行できるようバリアフリー化します。角崎踏切の改良については、高額な予算が必要となることから、結論に至ってません。引き続き、活用できる補助事業や有利な起債等の財源確保を考慮し、国・県・関係機関と連携をとりつつ、JR九州と協議していきたいと考えています。

まちなか観光拠点について

問 まちなか観光拠点の生産性と投資リスクについて

答 あらゆる施策と連携できる施設を目指すことで、投資に見合う生産性のある拠点になるのではないかと。とした上で、身の丈にあった事業を計画していくことが重要で、慎重かつ丁寧に取り組んでいきたい。

市民の困りに寄り添う姿勢を！！

くらはら ひでき
倉原 英樹

問 新聞報道で障害年金の不支給者の数が、2023年度と比べて2倍以上増え、3万人に上り過去最大となる見通しとのこと。

津久見市で、障害年金の受給者数及び不支給となった事例がありますか

答 法令により定められた障害等級表1級又は2級による障がいの状態にある方は、障害基礎年金が支給されます。本市では、令和5年度で375の方が受給されています。

また、津久見市では、不支給決定に関する相談はありませんでした。

問 津久見市では、子どもの数が減少しているにも関わらず、特別支援教育を受けている児童生徒の数は、令和2年度が55人に対し令和7年度は、76人と増えています。その傾向をどのように捉えていますか

答 特別支援教育を受けている児童生徒は増

加傾向にあります。理由としては、教師や保護者の中で、障がいの特性や発達障がい等への認知が高まり、気になる児童生徒に早く気づきやすくなってきたことが挙げられます。

対象となる児童生徒への支援を届けるために、教職員の研修を進めていくこと、関係機関との連携強化をさらに進めていきます。

問 農作物や家庭菜園で鳥獣被害が出ています。被害防止柵等の対策は

答 防止柵を設置する事業は、国の事業であり、しかも個人に補助するのではなく、地域に対して補助するというのが事業の定義となっています。防止柵の耐用年数は14年となっており、その間は移動させることはできません。耐用年数を過ぎた防止柵は国の補助要件の対象外となることから、津久見市鳥獣被害防止対策協議会の判断で移設など地域の要望に応じることも可能となります。

令和7年度 第1回議会報告会を開催しました

5月21・22日に、各議員が2班に分かれ、市内4地区で議会報告会を開催しました。

各委員会の報告、令和7年度予算の説明、建設中の新庁舎の進捗状況などの報告後、参加していただいた市民の方から地域の状況、市政に関すること、議会に関することへのご要望や様々なご意見をいただきました。

これからの議会及び議員活動に活かしていきます。ご参加ありがとうございました。

日 時	会 場	参加者数
5月21日(水)	岡町公民館	2名
19:00～	岩屋公民館	10名
5月22日(木)	堅浦公民館	14名
19:00～	津久見市民会館	11名

●会場での主なご意見等

【人口減少について】

- 人口が減少し、空き家が増えている。地域のイベントを維持することが大変になっている。今、住んでいる家が将来どうなるのか心配になる。

【公共交通について】

- 高齢になって、自宅からバス停や乗り合いタクシーの乗り場まで行くのが遠い。

【学校給食費について】

- 給食費の月額に小学生200円、中学生700円を助成するとの説明でしたが3人以上の多子世帯に対して、3人目からの給食費を無料にするなど、考えてもよかったのではないかな。

【市道岩屋線改修工事・ラウンドアバウト】

- 当初6月に完成する説明があったが、どうなっているのか。
- 開通後、事故の発生が心配。

【小学校の統合について】

- 子どもの人数が少なくなり、複式学級になると子どもへの負担が大きいのので、小学校の統合も考えた方が良くと思う。
- 学校統合についていろいろな意見があるが、地域のコミュニティがなくなるので、反対である。

【津久見高校について】

- 中学生はもちろん、小学生やその保護者に津久見高校のPRをしてはどうか。

【新庁舎等建設】

- 建設スケジュールが遅れているが、来年3月の完成予定に間に合うのか。遅れた場合、国からの補助金は、大丈夫なのか。
- 観光交流拠点整備の話はどうなっているのか。是非、賑わいと交流の場になってほしい。
- 新庁舎の外壁をボルタリング用の設備にしてはどうか。

【その他】

- 旧第二中学校跡地の活用の話は、どうなっているのか。
- 新庁舎ができるのにあわせて、市議会の傍聴規則も見直してほしい。



岡町公民館



岩屋公民館



堅浦公民館



津久見市民会館

令和7年6月 議員研修会

災害に強いまちづくり

～ 次世代のためにいまできること ～

まつなが しょうご
講師 松永 昭吾氏

講演の概要

近年、地震・豪雨・台風といった自然災害が全国各地で相次ぎ、私たちの暮らしや地域社会にも大きな影響を及ぼしています。津久見市も例外ではなく、災害への備えと地域の絆がこれまで以上に求められています。

今回の講演では災害のメカニズムや近年の被害事例を交えながら、津久見市の地形や特性を踏まえた“地域に根差した防災の考え方”を土木技術者の視点から学びました。

松永昭吾氏
プロフィール

横浜国立大学 総合学術
高等研究院 豊穡な社会
研究センター 元気なイン
フラ研究所 所長/客員教
授、大分工業高等専門学
校非常勤講師、(株)サザン
テック執行役員

1970年長崎県佐世保市
生まれ。

博士（工学）、技術士（総
合監理部門・建設部門）
橋梁工学、災害調査、復
旧計画を専門とする土木
技術者。



津久見市の地形と特性

- 豊かな海とリアス式海岸
- 石灰石資源と産業の町
- 山と谷が近接するコンパクトな地形
- 人口減少・高齢化が進行
- 地震・津波への備えが不可欠

災害に強いまちづくりに向けて、地域に合わせた実践的な防災対策

①津波・高潮への備え（地球温暖化による海面上昇リスクと台風の大型化）

津波避難ルート、高台避難場所の整備と周知徹底、迅速な避難行動訓練の定期実施、海沿いの産業施設（港湾・工場）の防潮・耐震対策。

②土砂災害・大雨への対応

土砂災害警戒区域などの確認と対策工事、河川改修や排水路整備による内水氾濫の抑制、雨量・河川水位のリアルタイム監視と情報提供、ハザードマップの普及と住民の防災教育。

③高齢化・人口減少を考慮した共助の仕組みづくり

地域ごとの「避難支援名簿」整備と個別避難計画の推進、福祉施設や医療機関との連携強化、自主防災組織の育成と若年層の巻き込み、デジタル技術（防災アプリ、SNS）の活用。

④工業・港湾インフラの防災力向上

港湾施設の耐震化・防潮強化、工場・事業所のBCP（事業継続計画）策定支援、産業団地内の避難計画と地域連携。

▶ 国も令和5年（2023年）に第三次国土形成計画を作成し、この中で災害リスクの高まりを考慮したまちづくりを目指す。

▶ 今後の日本の人口減少（1.2億人から9千万人へ）を「縮小の好機」ととらえ、太平洋ベルト地帯から地方への人口分散とそれを支えるインフラの再構築が急務。

みんなガンバレ!

これからの津久見のために! 津久見で頑張ってる人を応援します♪

津久見商工会議所青年部

今年度スローガン

「新時代～伝統と革新～」

鳥越基克会長にインタビュー

Q1 今、一番頑張っていることは?

A1 港まつり納涼花火大会での升席運営

Q2 目指したきっかけは?

A2 地元津久見に貢献したいから

Q3 津久見の好きな所は?

A3 堅浦からの工場と鉱山風景

Q4 青年部としての夢は?

A4 地方でも頑張れる所を見せたい

Q5 会長より一言!

A5 精一杯津久見を盛り上げます👏

青年部会員募集中

詳しくは津久見商工会議所まで

tel 0972-82-5111



大玉花火を打ち上げるためには
じまった花火募金。
今も続けて頑張っています。



—昨年の様子です

市議会だより
リニューアル
にあたって

「誰にでも手に取ってもらえる市議会だより」を目指して、今回リニューアルいたしました。これからも議会の活動などについて掲載していきますので、ぜひ手に取ってご覧いただければと思います。

津久見市 議会だより 編集部会一同